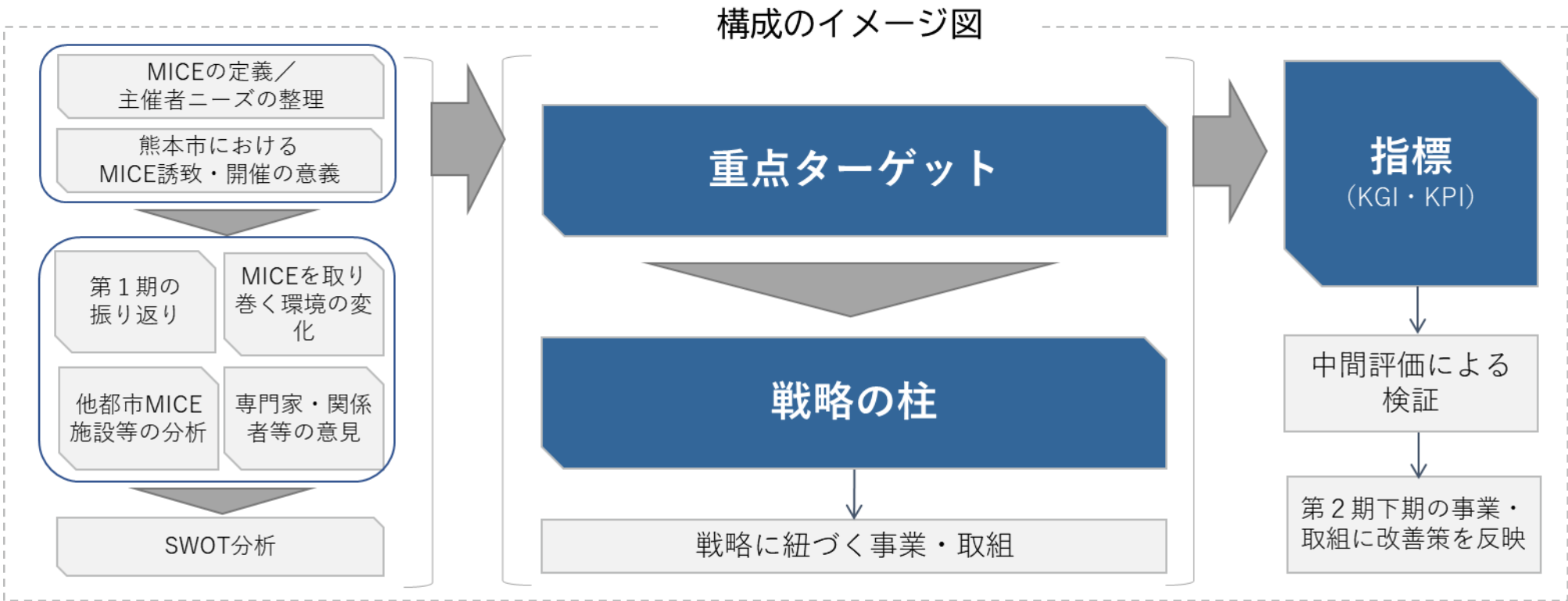


1. 戦略の構成

- ・ 「第1期戦略の振り返り」、「MICEを取り巻く環境の変化」等の各種調査・分析を踏まえ、「重点ターゲット」、「戦略の柱（取組方針）」、及び「事業の効果や進捗を検証するための指標」を設定
- ・ 年度毎に指標の検証を実施するとともに、計画期間中（R6～R13年度）のR9年度に中間評価を実施のうえ、適切な見直しを図る。



2. 重点ターゲット

【1】 医療系や理工学部系の国内学会
✓開催件数や参加者数が多く、地元大学や関係機関等との関連も深い「医学・薬学」分野や、半導体関連を含む「理工系」分野の国内学会の誘致を推進する。
【2】 熊本の特性（水資源、防災、半導体等）をいかせる国際会議
✓「アジア・太平洋水サミット」の開催実績を活かし、海外への熊本市の魅力発信の機会を増やすため、市の魅力や特性である「水資源」、「防災」、「理工系（半導体）」等に係る国際会議の誘致を推進する。
【3】 市の存在感を高め、開催効果を増大させる芸術・文化・スポーツ等のイベント
✓市の存在感を高める芸術・文化・エンターテインメントや、eスポーツやスタートアップイベントなどの今後成長が見込まれる分野・業界に関するイベントの誘致を推進する。
【4】 熊本・福岡空港発着の定期便があるアジア圏からのビジネスミーティングやインセンティブツアー
✓誘致可能性が高い、熊本空港や近隣空港発着の定期便があるアジア圏から誘致を推進する。

3. 戦略の柱

- ◆ 戦略的なマーケティング及びプロモーションの強化
 - ✓ MICEに関する情報収集及び分析に基づくプロモーションの強化
 - ✓ MICE主催者等に対する誘致活動の強化
- ◆ 熊本を訪れるきっかけの創出や魅力の向上
 - ✓ 熊本にしかないMICEの魅力の創造
 - ✓ 熊本城をはじめとする市の観光資源を活用した、魅力あるユニークベニユーの開発
- ◆ MICE開催効果の最大化
 - ✓ MICE開催効果を高める地域の理解促進と連携の強化
 - ✓ MICE誘致による社会的価値の可視化によるMICE誘致の意義の明確化
- ◆ 主催者・参加者の目線にたったMICE開催支援
 - ✓ 主催者・参加者の満足度調査の実施と課題解決に向けた取組の実施
 - ✓ MICE開催時の支援策の拡充

4. 事業の効果・進捗を検証するための指標

- ・ 第1期の指標であった「コンベンション開催における経済波及効果」に加え、「国際会議開催数」等を追加する方向で検討中

5. 今後のスケジュール

- ・ R6. 2 市議会へ原案を報告
- ・ R6. 3 第2期熊本市MICE誘致戦略の策定